



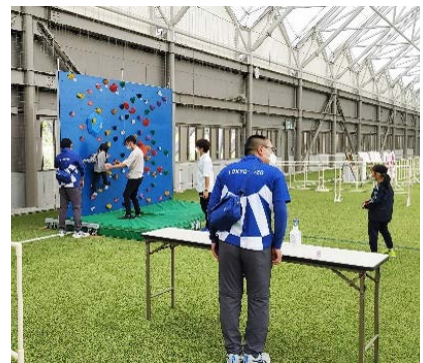
City Cast NEWS

シティキャストニュース

「ドリームミーティング」でボランティア活動を行いました！



2022年10月16日(日)にJヴィレッジで、ドリームミーティングが開催されました。イベントには、東京オリンピック・スポーツライミング銅メダリストの野口啓代さんや、いわき市出身で東京パラリンピック・車椅子バスケットボール銀メダリストの豊島英さん、郡山市出身でプロフィギュアスケーターの本田武史さんが登場し、トークショーでは、参加した子どもたちに向けて、競技を始めたきっかけなどを話しました。



会場の受付や、競技体験ブースにおいて、都市ボランティアが活動を行いました！
元気な子どもたちを相手に、朝からの活動お疲れさまでした！

参加者の声

- ▶ 子どもたちの楽しそうに熱中する姿を見て、体験の大切さを実感しました。より多くの方に体験の機会があるようにできればいいですね。
- ▶ イベント規模に対するボランティアの人数、活動（作業）内容、時間（休憩含む）どれをとっても適切だったと感じました。
- ▶ ボランティア活動自体ではないですが、今回の「ドリームミーティング」は、県民への周知・広報が少なかったように感じました。

START UP!! ～県内のボランティア団体をご紹介します！～

今回は、日本赤十字社福島県支部の徳井さんに、福島県内に146の団体がある赤十字奉仕団についてうかがいました！



赤十字はアンリー・デュナン(スイス人・第一回ノーベル平和賞受賞者)が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にあるものは、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界192の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。日本赤十字社はそのうちの1社で、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。福島県支部には、10,168人がボランティアに参加しています。



赤十字のボランティアとは？

福島県内の全市町村に結成された【地域赤十字奉仕団】、主に18歳～30歳の社会人や学生が所属する【青年赤十字奉仕団】、救急法等指導員資格を持つ人や、語学・芸能・マッサージなどの特技を持つ人が所属する【特殊赤十字奉仕団】と、大きく分けて3つの奉仕団があります。



ボランティアの活動内容は？

【地域赤十字奉仕団】は、災害時の炊き出しや避難所での支援、福祉施設で歌・散歩などのレクリエーションや清掃活動、自治体とともに花いっぱい運動など環境美化活動を行うこともあり、地域に密着した様々な活動を行っています。【青年赤十字奉仕団】も災害時や福祉施設での活動を行う他、赤十字のイベント協力などにも参加しています。赤十字のボランティアは地球規模での活動も多く、世界につながっていると実感できるのが魅力です。最近では、ウクライナへの救援金の呼びかけなども積極的に行っています。



奉仕団への参加方法について



赤十字は「敷居が高い」と思われるかもしれませんが、自分ができる範囲で、自由に参加できるボランティア活動です。地域を良くしたい、人のために何かしたいという気持ちがあれば、年齢問わずなたでも参加できます。資料請求はWebサイトのお問い合わせフォームから。奉仕団に参加したい方は電話でご連絡ください。

? 日本赤十字社 福島県支部へのお問い合わせはこちらから

Web ▶ <https://www.jrc.or.jp/chapter/fukushima/volunteer> / Tel ▶ 024-545-7998